

# 厳選良問

～ 時代背景から読み解いていく ～

分野

法律系分野

出典

社会福祉士試験(第27回試験-問題56)

## 問題

**問題** 障害児者福祉制度の歴史的展開に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神薄弱者福祉法(1960年(昭和35年))において、ノーマライゼーションの促進が目的規定に明記された。
- 2 重度精神薄弱児扶養手当法(1964年(昭和39年))の制定当初から、重度身体障害児も支給対象とされていた。
- 3 国際障害者年(1981年(昭和56年))を契機として、重症心身障害児施設が制度化された。
- 4 障害者自立支援法(2005年(平成17年))により、身体障害者福祉法は廃止された。
- 5 「障害者差別解消法」(2013年(平成25年))では、「障害者」について、障害者基本法と同様の定義がなされた。

(注)「障害者差別解消法」とは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」のことである。

## ポイント&解答

### 資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★★	★★	×	×	★★★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

### 試験対策ポイント解説

この出題パターンの場合、「(2005年(平成17年))」という年号が、正誤判断の対象になることはまずないので、年号は正しいと捉えて下さい。このように捉えることができれば、すべての選択肢の前半部分は正しいので、後半部分が正誤判断と対象となるぞ!という判断ができるはずです。といっても、今回の内容は、後半部分も知っていなければ判断がつかないものばかりです。その場合は、正しい部分から読み解いていきましょう。例えば、選択肢4をみると、「この内容が正しいければ、現在も身体障害者福祉法はない」と捉えることができ、「身体障害者福祉法がないということは、身体障害者福祉手帳もない?」というところまで連想できれば、何となくでも「×」だと判断できると思います。また、選択肢1も「戦後」「インターネットがない(情報が広がるのが遅い)」「ノーマライゼーションの発祥がデンマークで1950年」「日本にノーマライゼーションが普及したのは国際障害者年(1981年)」などの時代背景を思い浮かべることができれば、「×」だと判断できます。

解答

5

